

チアリーダー

フレ〜!フレ〜!ヒガシ チアリーダー練習スタート



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

12
夏の練習

7月30日、甲子園出場を決めた野球部を応援するため、チアリーダーが結成された。滋賀学園高校(東近江市)チアリーディング部の村井三幸コーチを講師として迎え、体育館での練習を開始した。

▼毎日、滋賀学園高校チアリーディング部の村井コーチ(手前)の指導で練習が進む。



初日、体育館前にはチアリーダーのメンバーとなった1年生と2年生を合わせた23人の女子生徒が集まった。保健体育科の北林勝利先生は「暑い中での練習は体力勝負だ。毎日の練習で振り付けを覚えていくが、家での自主練習もしなければならぬ」と練習が厳しいことを強調された。この言葉を受け、メンバーは緊張な面持ちであった。しかし、北林先生は「きつとやりがいや達成感を味わうことができる。ぜひみんなには頑張ってもらいたい」と励まされ、メンバーたちに笑顔が戻った。

夏の暑さ……..
時間がない……..
「それでもやりたい」

本校は2009年3月、第81回選抜高等学校野球大会に21世紀枠で出場している。その際もチアリーダーが結成された。ただ前回とは条件が大きく異なる。まず、夏の暑さだ。猛暑の上、体育館は熱気であふれる。そして、甲子園が8日に開幕するため、初戦までの練習期間が短い。前回は20日間ほどの練習期間だったが、今回は1週間ほどだ。

そんな厳しい条件でも、23人のメンバーが集まった。徳田郁香さん(2-4)は「1生に何度もあることではない

2009年春と同じく、滋賀学園高校チアリーディング部の村井三幸コーチが指導をしてきた。

「明るく元気に
笑顔で応援しよう」

滋賀学園チアリーディング部
村井三幸コーチ

「4年前にも教えさせてもらったので当時が懐かしい」と村井コーチは話され、「全国で戦う滋賀

◀滋賀学園高校チアリーディング部の部員のみなさんも指導に駆けつけてくれた。



ので」と参加の理由を話し、「野球部の力になりたい」と意気込んだ。中嶋春菜さん(1-1)は「野球部の活躍を見ていたら自分もどうしても応援したかった」と参加の動機を熱い口調で話した。

笑まれた。東高生が練習する様子を見て、「飲み込みが早いと感じている」と村井コーチは話された。

厳しい条件の中で練習に励むメンバーに対して「明るく元気に笑顔

で応援しよう。かわいらしいねと言ってもらえるように頑張ろう」とエールを送られた。

厳しい練習だけど、やりがいは大きい